

(25.6.3配信)

現在、市では、現行の第3次会津若松市男女共同参画推進プラン(改訂版)が、今年度、5年間の計画期間の最終年度を迎えることから、新たなプランの策定に向けて取り組んでいます。

そこで今回は、昨年度実施した男女共同参画に関する意識調査の結果と、現在実施しているワークショップについてお知らせします。

●トピックス1 ～男女共同参画に関する意識調査

(<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2008052600016/>)

平成24年度に実施しました「男女共同参画に関する意識調査」の調査結果を6月1日号の市政だよりと市のホームページにて、公表しました。

なお、調査結果は、今年度策定する推進計画「(仮)第4次男女共同参画推進プラン」の基礎資料となります。

●トピックス2 ～ワークショップ

ただ今、男女共同参画推進のためのワークショップを開催しています。ワークショップは、市民の皆様から男女共同参画を進めていくためのアイデアをお伺いするとして、6月まで全5回開催します。今回は、第1回目(5月8日)、第2回目(5月15日)のワークショップでの意見や感想をご紹介します。

★ワークショップの進行役 (有)ネクセス・ゲート (代)田崎久美子氏

★第1回目「家庭・地域・職場など身の回りの課題を出し合おう」

(参加者の意見・感想)

- ・子育ては女性の仕事とされている。
- ・男性には育児休暇や介護休暇が取りにくい職場環境がある。
- ・男女共同参画とは男女差別を無くすことではなくお互いを尊重すること、共同参画に対するイメージが少し変わりました。

★第2回目「男女の固定観念の解消 ～男だから・女だからということで、それぞれが周囲から不利益を受けないように～」

(参加者の意見・感想)

- ・女性の意見が通るように女性管理者を増やす。
- ・「初心者の料理教室」を開く。“男の”料理教室 といったように、性別を限定しない。
- ・「女(男)の意識改革講座」を開いてはどうか。

★約25名の参加者の皆さんは4班に分かれ、お茶&お菓子で一息入れながら和やかに意見を交わしていました。